

中間報告書

～平成20年4月1日から平成20年9月30日まで～

焼津水産化学工業株式会社

天然素材のフィールドの中で、
“おいしさと健康”を追求します。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、ここに平成21年3月期中間報告書をお届けするにあたり、事業の概要についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は売上高103億58百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益5億29百万円（同60.6%増）、経常利益5億86百万円（同44.8%増）、当中間純利益3億30百万円（同62.1%増）と増収増益となりました。

この好業績は、燃料・原材料の価格高騰によるコスト上昇などマイナス要因はあるものの、連結子会社の新規組み入れ、および既存連結子会社の収益改善、製品の販売量増加による工場稼働率の向上と経費削減により製造コストが減少したことなどが要因です。

「調味料事業」は、特定顧客向けの製品が好調に

代表取締役社長

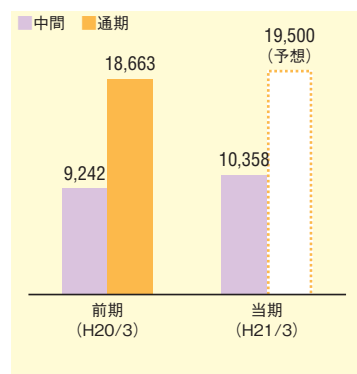
坂井和男



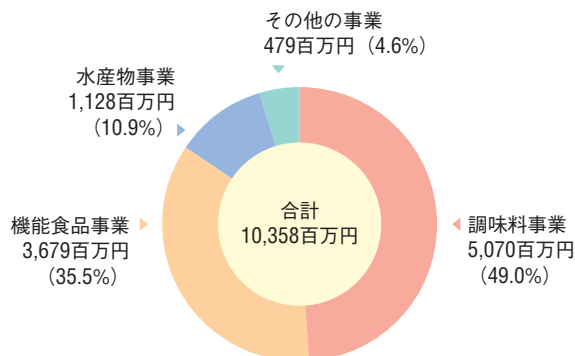
推移し、売上が増加しました。「機能食品事業」は、機能性食品素材のN-アセチルグルコサミンや流動食の販売が引き続き好調だったことや、子会社で健康食品販売のUMIウェルネス(株)が、当期から連結に加わったことで、売上・利益が増加しました。「水産物事業」は経費などの見直しを幅広く行ったこと、「その他の事業」は受託加工が好調だったことなどによって、利益が改善しました。

食品業界は、食品の有害物質混入などの問題が続発し、少子高齢化による市場の縮小など厳しい営業環境が続いております。当社はさらに食の安全・安心を徹底するとともに、時代の変化をとらえ着実に成果をあげるよう努力いたします。今後とも株主の皆様のご理解を賜り、末長いご支援をいただきますようお願い申し上げます。

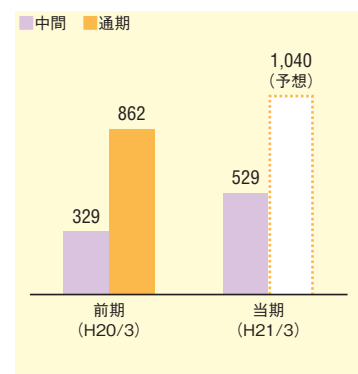
連結売上高（単位：百万円）



事業別売上高構成比
(当中間期)



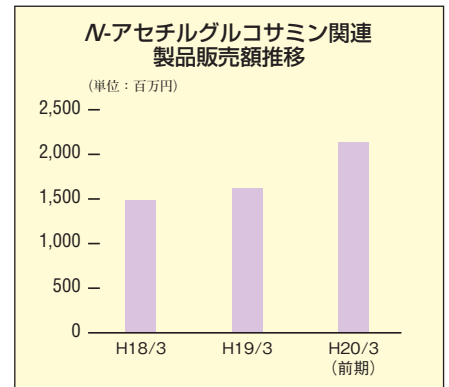
連結営業利益（単位：百万円）



当社の取り組み

1 N-アセチルグルコサミン販売増加への取り組み

機能性食品素材N-アセチルグルコサミンは、美容や軟骨の健康をサポートする飲料やサプリメントに配合され、利用が広がっています。当社はN-アセチルグルコサミンをさらに広めるため、機能に関する情報発信、研究データの蓄積、海外展開などに取り組んでいます。



(1) 情報発信

当社が運営に協力している、肌の乾燥に悩む人を対象に情報を提供する「ドライスキン広報センター」は、今年4月、新たにホームページを開設しました。保湿成分のヒアルロン酸を体内で生成する成分のN-アセチルグルコサミンについて詳しく紹介しています。

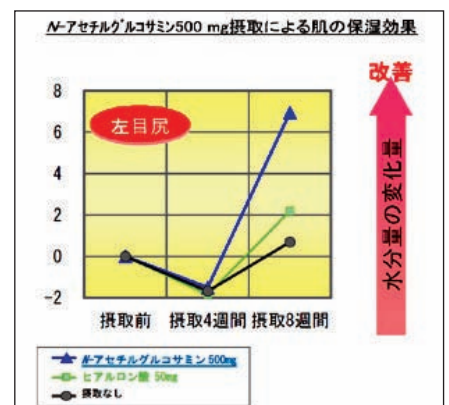
ドライスキン広報センター：<http://dryskin.jp>



(2) 有効性データの蓄積

日本美容皮膚科学会の学会誌「Aesthetic Dermatology」に、当社は「N-アセチルグルコサミンの乾燥肌に対する臨床効果の検討」を発表しました。

N-アセチルグルコサミンはこれまで、1日に1,000mg摂取のときに乾燥肌の改善効果が示されていましたが、今回、従来の半分の500mgでも、保湿改善に有効であることが分かりました。



(3) 海外展開

当社と株式会社カネカは昨年8月に業務提携し、当社が製造する高純度のN-アセチルグルコサミンを株式会社カネカは「ヒアルログルコ™」として米国内で販売していますが、このほどこの製品が、米国食品医薬品局が定める「GRAS認証」を取得しました。

この取得により、N-アセチルグルコサミンを米国市場で一般食品原料として広く販売することが可能になり、販売量の拡大が期待されます。



2 環境報告書を公開

当社はこのほど、環境保全に関する理念・方針・目標・計画、環境負荷の状況とその提言に向けた取り組みなどをまとめた「環境報告書」を公開しました。

「環境報告書」には、当社の地球環境に対する姿勢が詳しく記されています。当社のホームページからご覧ください。

<http://www.yskf.jp/company/environment.html>



・環境保全への取り組みの一例

食品副産物の有効利用

当社工場で魚介類のエキスを抽出する際、抽出ガラなど多くの食品副産物が発生します。この食品副産物はアミノ酸などの窒素分が多く含まれ、栄養分が豊富です。当社榛原工場は国内屈指の茶生産地である牧之原台地の近くにあり、近隣の茶農家グループと共同で、製造工程から出る食品副産物を有機肥料として活用する検討を進めています。



食品副産物

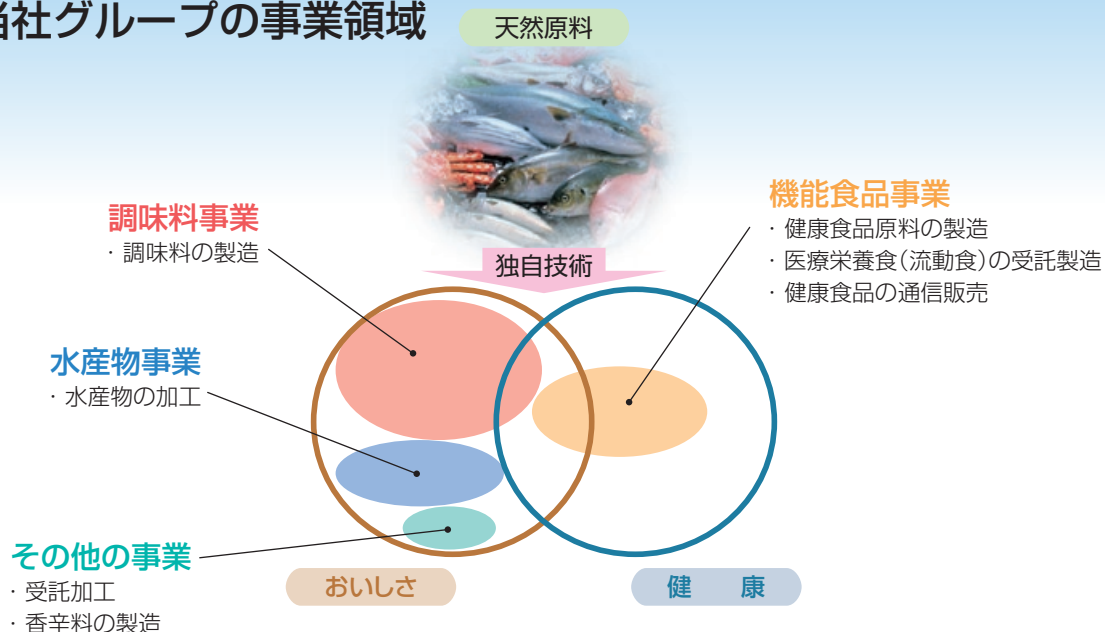


混合して施用



施用された茶園

当社グループの事業領域



連結財務データ

■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期末 (平成20年 9 月30日)	前 期 末 (平成20年 3 月31日)
(資産の部)		
流動資産	11,228	10,608
固定資産	10,049	10,037
有形固定資産	6,852	6,683
無形固定資産	66	77
投資その他の資産	3,129	3,275
繰延資産	11	14
資産合計	21,288	20,660
(負債の部)		
流動負債	3,822	3,186
固定負債	750	858
負債合計	4,573	4,044
(純資産の部)		
株主資本	16,621	16,519
資本金	3,617	3,617
資本剰余金	3,414	3,414
利益剰余金	9,594	9,492
自己株式	△ 5	△ 4
評価・換算差額等	94	96
その他有価証券評価差額金	36	36
為替換算調整勘定	57	59
純資産合計	16,715	16,615
負債・純資産合計	21,288	20,660

会社概要

(平成20年 9 月30日現在)

■商 号	焼津水産化学工業株式会社
■事 業 内 容	天然調味料および機能食品の製造販売
■資 本 金	36億1,764万円
■創 業 年 月 日	昭和34年5月15日
■取 引 銀 行	りそな銀行東京営業部／静岡銀行本店営業部
■社 員	264名
■事 業 所	静岡本部 〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町11番1号 静岡・中央銀静岡駅南ビル6 F TEL.054-202-6030 FAX.054-202-6031
	焼津本社 営業所 東京 大阪 名古屋 静岡 福岡 工 場 焼津 榛原 大東

株主メモ

■事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで。
■定時株主総会	毎年6月下旬に開催いたします。
■配当金・中間配当金	期末配当金については3月31日現在の株主に対し、中間配当金については9月30日現在の株主に対し、ご指定の方法によりお支払いいたします。
■単位株式数	100株
■上場金融商品取引所	東京
■基 準 日	(1) 毎年3月31日といたします。 (2) その他必要な場合には、あらかじめ公告をもってお知らせいたします。
■株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 (〒168-0063)
■同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号 (0120)78-2031 (フリーダイヤル)
■同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
■お 知 ら せ	住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。 ●フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内) ●ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html
■公告掲載新聞	日本経済新聞に掲載いたします。

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (平成20年 4 月1日から 平成20年 9 月30日まで)
売上高	10,358
売上原価	8,262
売上総利益	2,096
販売費及び一般管理費	1,566
営業利益	529
営業外収益	84
営業外費用	28
経常利益	586
特別損失	26
税金等調整前中間純利益	559
法人税等	229
中間純利益	330

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (平成20年 4 月1日から 平成20年 9 月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 426
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 300
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4
現金及び現金同等物の増加額(減少額△)	△ 535
現金及び現金同等物の期首残高	2,583
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	26
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,074

■重要な子会社の状況	会社名	オーケー食品株式会社	会社名	大連味思開生物技術有限公司
	資本金	50百万円	資本金	450万米ドル
	当社の議決権比率	100%	当社の議決権比率	100%
	主な事業内容	香辛料および調味料の製造	主な事業内容	天然調味料および機能食品の製造販売
	会社名	マルミフーズ株式会社	会社名	UMIウェルネス株式会社
	資本金	100百万円	資本金	50百万円
	当社の議決権比率	100%	当社の議決権比率	100%
	主な事業内容	水産物の加工販売	主な事業内容	健康食品の通信販売

■株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

- 株券電子化後の未払配当金の支払のお申出先
これまでどおり、左記の株主名簿管理人にお申出ください。
- 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先
 - 証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられている株主様：お取引証券会社等
 - 証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様：特別口座を開設する口座管理機関(左記の株主名簿管理人)なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受理することができるのは、特別口座に記録される予定日であります平成21年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。

■株券電子化実施前後の単元未満株式の買取・買増請求のお取扱いについて

株券電子化制度への移行に伴い、ほふりに株券を預けられていない株主様に関しまして、以下の期間お取扱いを変更させていただきます。

- 単元未満株式の買取請求につきましては、平成20年12月25日(木曜日)から平成21年1月4日(日曜日)(実質平成20年12月30日(火曜日))までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日(月曜日)とさせていただきます(買取価格はご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日までに値が付かない場合は返却させていただきます。)。また、平成21年1月5日(月曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。
- 単元未満株式の買増請求につきましては、平成20年12月12日(金曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、受付を停止します。
なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求・買増請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。